

医療費窓口無料化 (現物給付)の現状は



赤嶺 奈津江 議員

答 重度心身障害者、母子父子医療は、現物給付とはなっていない



問 重度心身障害者(児)医療助成事業、母子及び父子家庭等医療費助成事業について子ども医療費と一緒に現物給付を目指すことを本町は目標としてきた。現在どうなっているか。
町長 現在現物給付とはなっていない。

問 本町では、高校3年生までの医療費無料化がスタートしたが、母子父子医療の部分について、高校3年生までの対応がどうなっているか。
こども課長 18歳以下までの医療の対象者については、こども医療費の医療券を渡しており、こども医療費の現物給付で対応している。

問 重心と母子父子の点については条例、また窓口も違う。2つの医療費窓口無料化のOKが出ないと聞いている。現在の県の対応、状況はどうなっているか。
民生部長 2つの医療費助成については現物給付とはなっ

ていない。しかし、県の担当部署から、今という状況でこの医療費助成をしているか、少しずつ市町村に対して要望等の調査がある。引き続き、この2つの医療費助成も是非現物給付にできるよう、毎年要望している。



お問合せはこちら→

学び直しのサポート体制構築・強化を

問 コロナ禍において高校・大学中退をする子どもも多くなつたとの情報もある。またこれまでも家庭環境や様々な理由で学びをあきらめたり、リタ

イヤする方もいた。是非サポートする体制、システムをつくってほしいがどうか。
教育長 受験のサポート窓口については、県立学校教育課が高校中退者の窓口として、大学中退者についてはその大学がその窓口を設けている。相談があった場合は各窓口につなげていけるよう情報共有を図っていく。

問 リカレント教育やリスキリングを奨励する企業へのサポート体制を整え、情報や奨学金などで「支える」体制を強化してほしいがどうか。

町長 リカレント教育等の労働者や事業主等への支援として、国の様々な給付金や助成金がある。その情報発信に努めていく。

—こんな質問もしました

- 那覇空港道路路下活用について。
- 災害時の対応について。
- 津嘉山公園及び津嘉山区画整理事業の早期完成を。